

3. 部位別の工事仕様

3.1 構造材の加工

土台、柱等の部位別に工法、継手・仕口の種類、使用箇所等を明記しますが、記載の加工評価及び加工・組立の写真を参考に記入してください。

構造材の加工評価

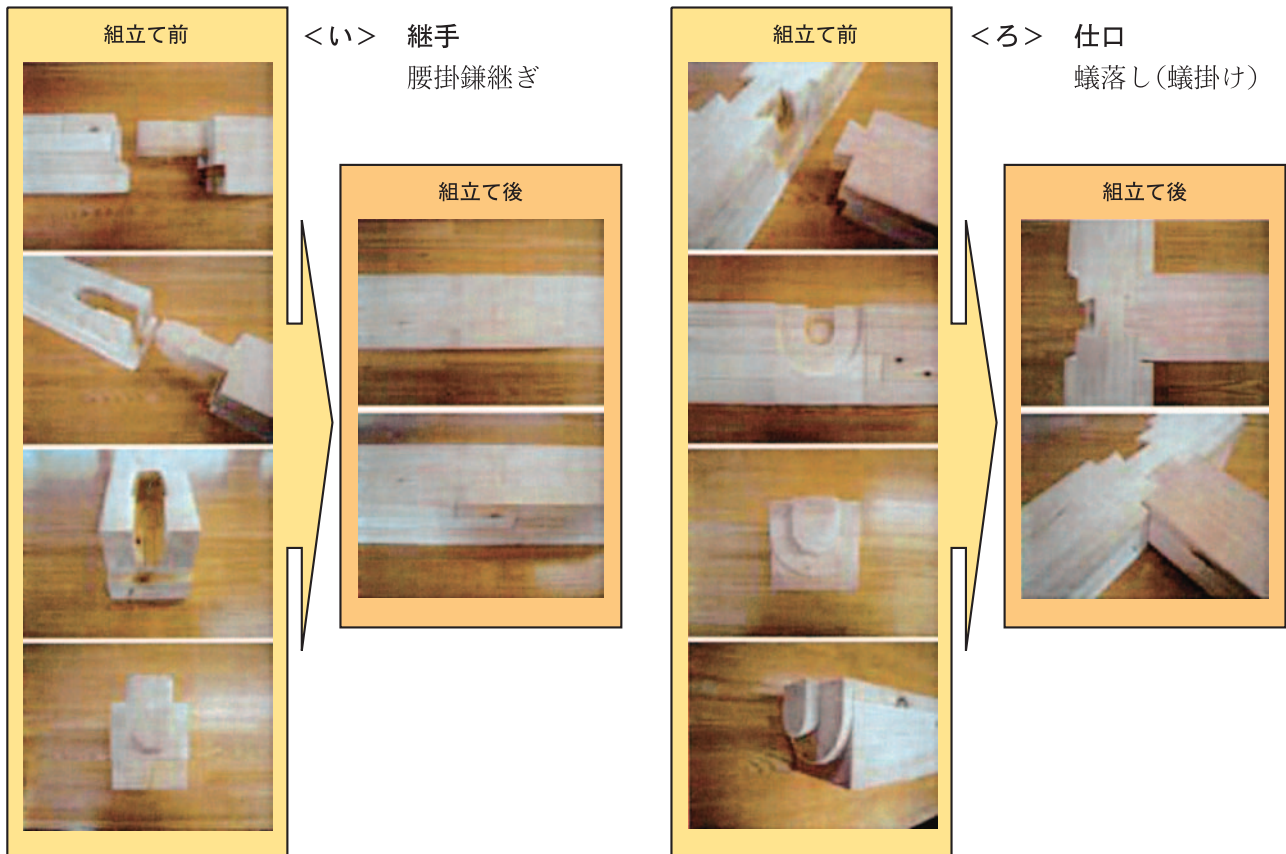
部 位	工 法	画像	継手・仕口の種類	評 価			備 考
				加工手間	強 度	締付度	
土 台	プレカット	<い>	継手 腰掛鎌継ぎ	—	2	1	締め付けがないが精度がある
		<ろ>	仕口 蟻落とし(蟻掛け)	—	2	1	精度を出す為に1mm小さく加工する為機械舐めができる
	在 来	<は>	継手 腰掛蟻継ぎ	1	1	3	捻れの可能性が無い場合
		<に>	仕口 蟻落とし(蟻掛け)	2	2	3	材の捻れ止め
柱・通し柱・小屋束	プレカット		仕口 平柄・短柄	—	2	1	長柄が出来ない場合がある
	在 来	<を>	仕口 平柄・短柄・長柄・扇柄	1	2	1	
横架材(梁・桁等)	プレカット		継手 腰掛鎌継ぎ	—	2	1	締め付けがないが精度がある
			仕口 蟻落とし(蟻掛け)	—	2	1	精度を出す為に1mm小さく加工する為機械舐めができる
	在 来	<ほ>	継手 腰掛鎌継ぎ	1	1	3	捻れの可能性が無い場合
			継手 腰掛蟻継ぎ	1	1	3	捻れの可能性が無い場合
			継手 目違付腰掛鎌継ぎ	2	2	3	材の捻れ止め
			継手 目違付腰掛蟻継ぎ	2	2	3	滑りに依る締めあり
		<へ>	仕口 追掛け大栓継ぎ	3	3	3	タテ・ヨコ方向の応力に強い
		<と>	仕口 金輪継ぎ	3	3	3	ダテ・ヨコ方向の応力に強い
		<ち>	仕口 台持ち継ぎ	3	3	3	真継ぎ
		<り>	仕口 蟻落とし(蟻掛け)	2	2	3	滑りに依る締めあり
	仕口 渡りあご		2	2	1		
	仕口 傾ぎ大人れ柄差し		2	2	2		
	仕口 胴差し		2	2	2	込栓に依り強制	
<わ>	仕口 かぶと蟻掛け	2	2	3	丸太梁に多く使われる 梁下を上げる		

プレカット工法

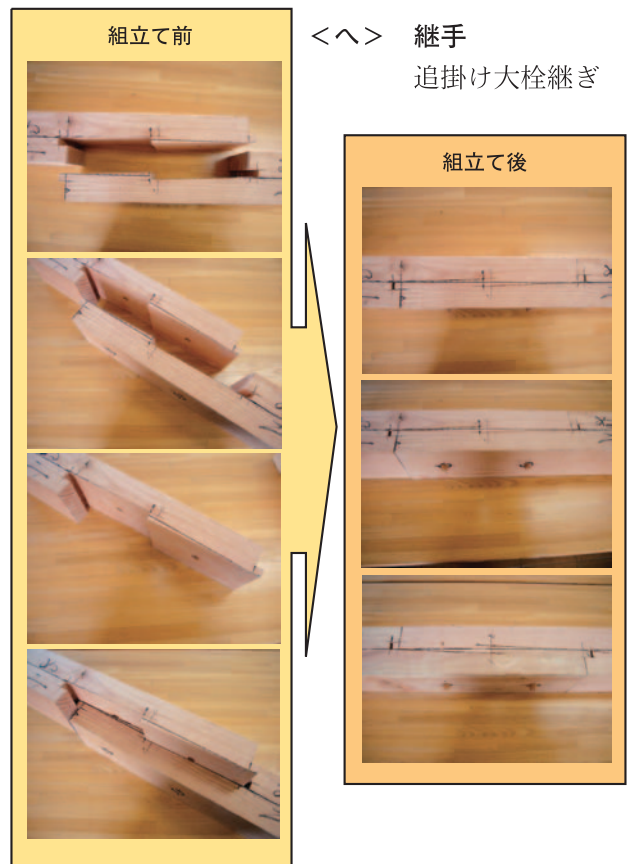
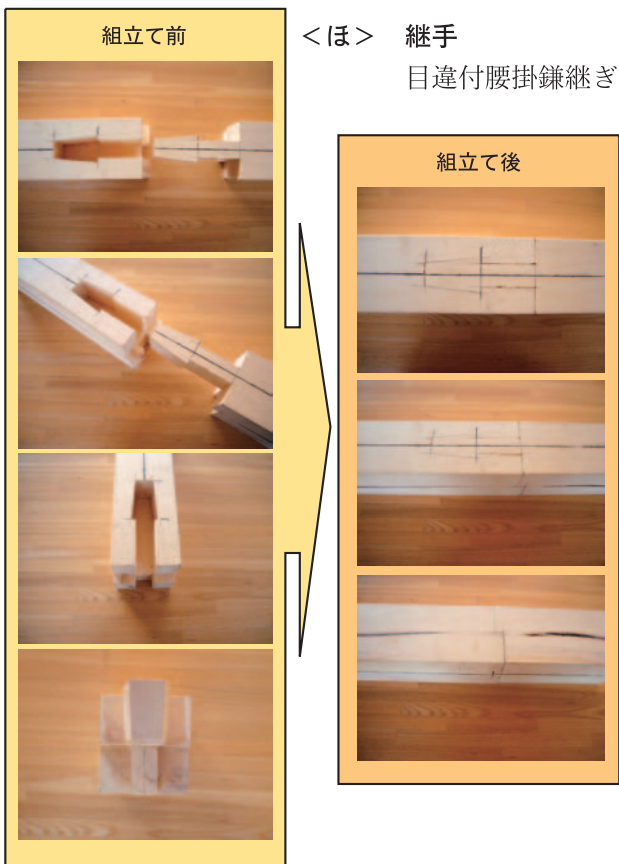
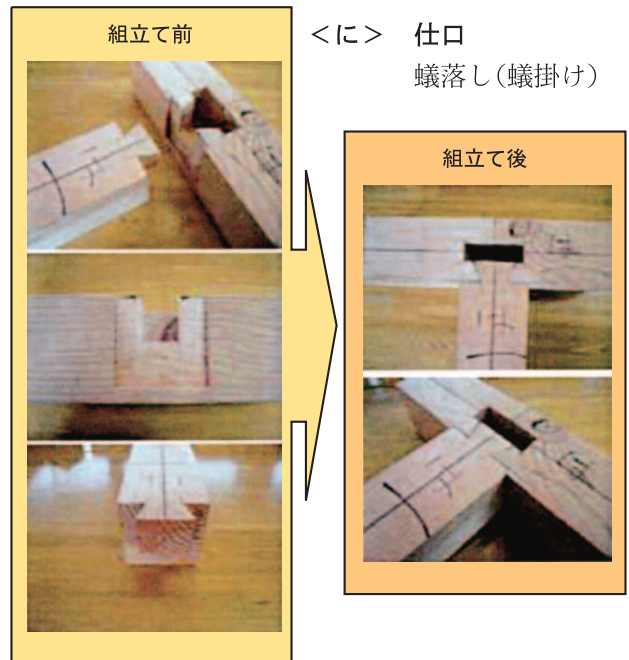
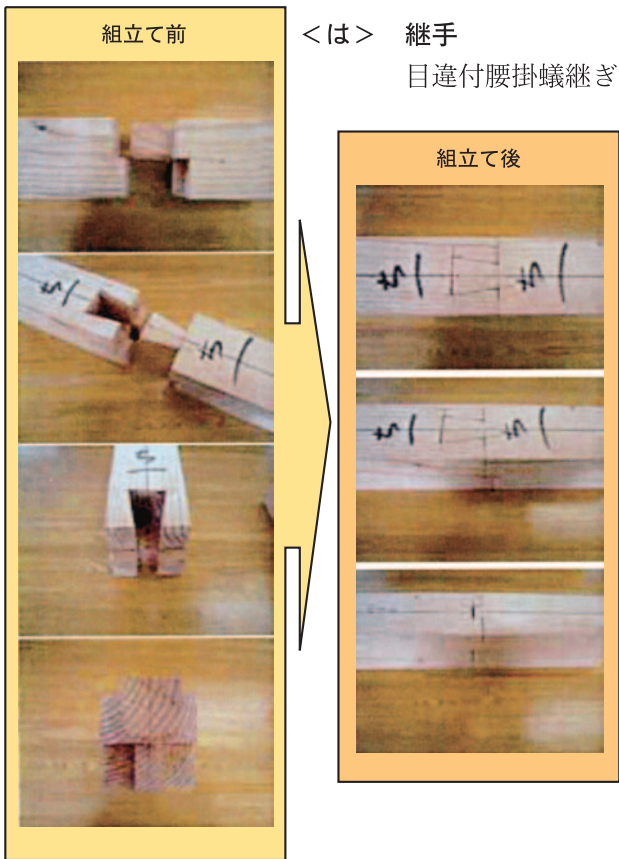
1:少ない → 3:多い

1:普通 → 3:強い

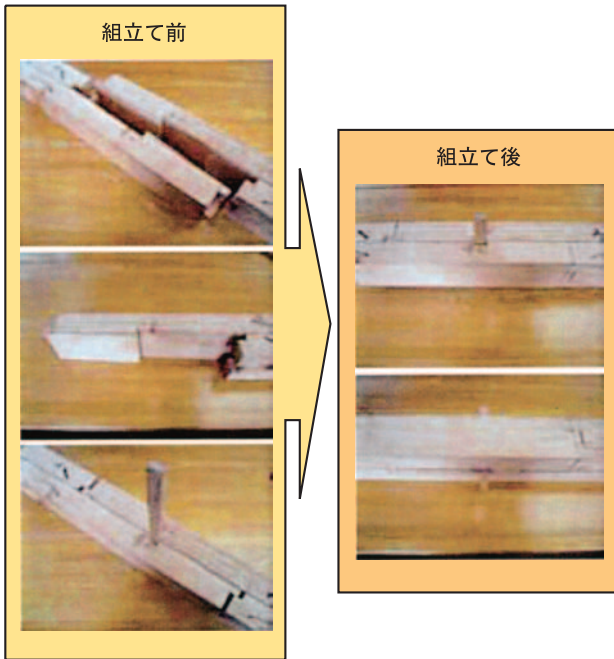
1:普通 → 3:強い



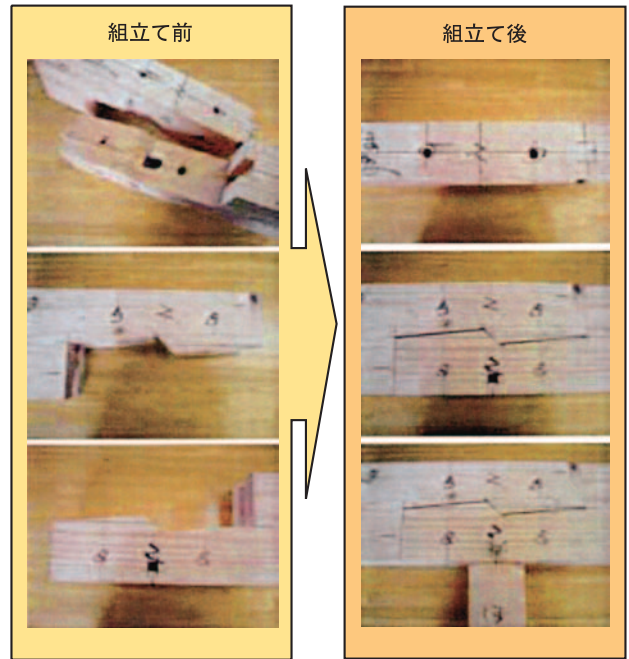
在来工法



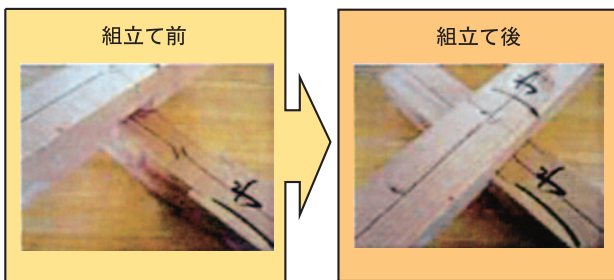
<と> 継手 金輪継ぎ



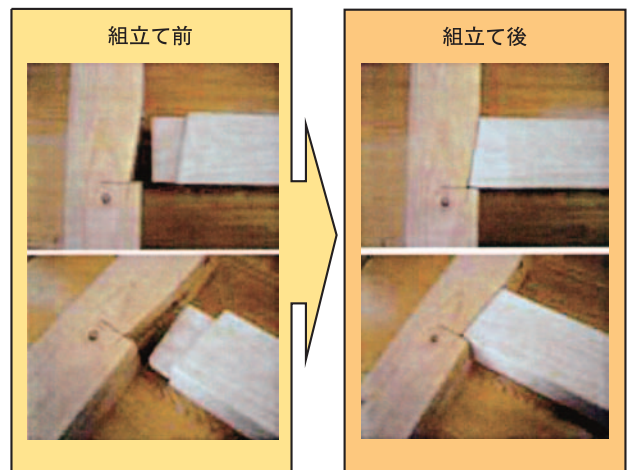
<ち> 継手 台持ち継ぎ



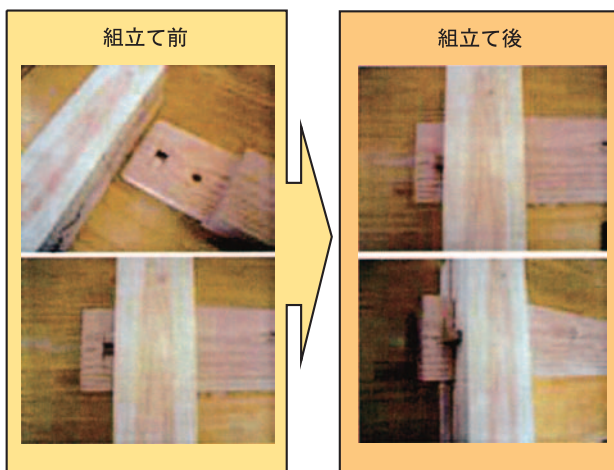
<り> 仕口 渡りあご



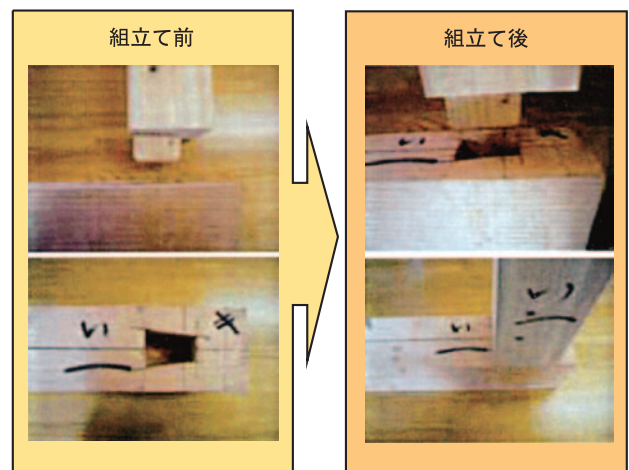
<ぬ> 仕口 傾ぎ大入れ柄差し



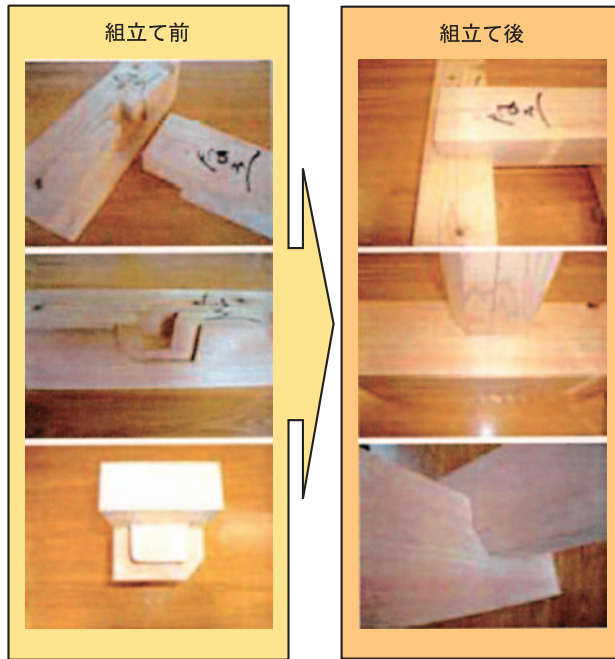
<る> 仕口 胴差し



<を> 仕口 扇柄



<わ> 仕口 かぶと蟻掛け



<記入例>

在来工法

部位・構造	工 法	継手・仕口の種類		金物・栓類	使用箇所
土台	在来	継手	腰掛目違付蟻継ぎ		全般
		仕口	大入れ蟻掛け	羽子板ボルト併用	全般
柱・通し柱・小屋束	在来	仕口	平柄・短柄・長柄・扇柄	山形プレート・込栓	全般
	在来	仕口	平柄・短柄・長柄・扇柄	山形プレート・込栓	全般
横架材(梁・桁等)	在来	継手	腰掛目違付蟻継ぎ		全般
			腰掛目違付蟻継ぎ		母屋
			追掛け大栓継ぎ	込栓	同成材
			台持ち継ぎ	だぼ・通しボルト	丸太梁
		仕口	大入れ蟻掛け	羽子板ボルト併用	全般
トラス斜め-上弦材	在来	仕口	傾ぎ大入れ柄差し	込栓・ボルト	全般

プレカット工法

部位・構造	工 法	継手・仕口の種類		金物・栓類	使用箇所
土台	プレカット	継手	腰掛鎌継ぎ		全般
		仕口	大入れ蟻掛け	羽子板ボルト併用	全般
柱・通し柱・小屋束	プレカット	仕口	平柄・短柄	山形プレート	全般
横架材(梁・桁等)	プレカット	継手	腰掛鎌継ぎ		全般
		仕口	大入れ蟻掛け	羽子板ボルト併用	全般
金物工法	プレカット		スリット加工	ボルト・ドリフトピン	全般

大断面ラーメン構造

部位・構造	工 法	継手・仕口の種類		金物・栓類	使用箇所
大断面ラーメン	NC加工	継手	なし		
		仕口	スリット・穴加工	ボルト・ドリフトピン	全般